

第1分科会：性の多様性

テーマ 多様な性と家族、パートナーシップ

副題 ～コウノドリ作者と考える多様な生き方と制度～

内容

産婦人科を舞台にした漫画「コウノドリ」の作者、鈴ノ木ユウさんをゲストにトーク形式で開催。

★鈴ノ木ユウさん自身の人生、作品に対する思いやエピソード

★多様な性を生きる人々の現状

★パートナーシップ制度等の社会制度やこれからの社会の在り方



©鈴ノ木 ユウ/講談社

第1分科会：性の多様性

第1部

- ・漫画家であり父である鈴ノ木ユウさんの経験や生き様
- ・制作における取材経験
- ・漫画「コウノドリ」にて、女性同士のカップルの出産を描いた背景



多様な性や家族の在り方をめぐる現状の整理

第2部

- ・取材や作品制作を通してみえる多様な性や多様な関係性の在り方
- ・社会の制度とどんな社会を次世代に残したいか



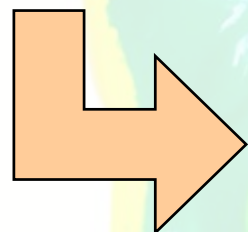
誰もが自分らしく生きやすい社会の作り方を提案

第1分科会：性の多様性



現状とこれまでの取組み

- 性の多様性に関するイベント開催（展示会、講演会）
- 甲府市議会にて同性パートナーシップ制度の創設を含めた請願の提出
⇒令和2年3月採択



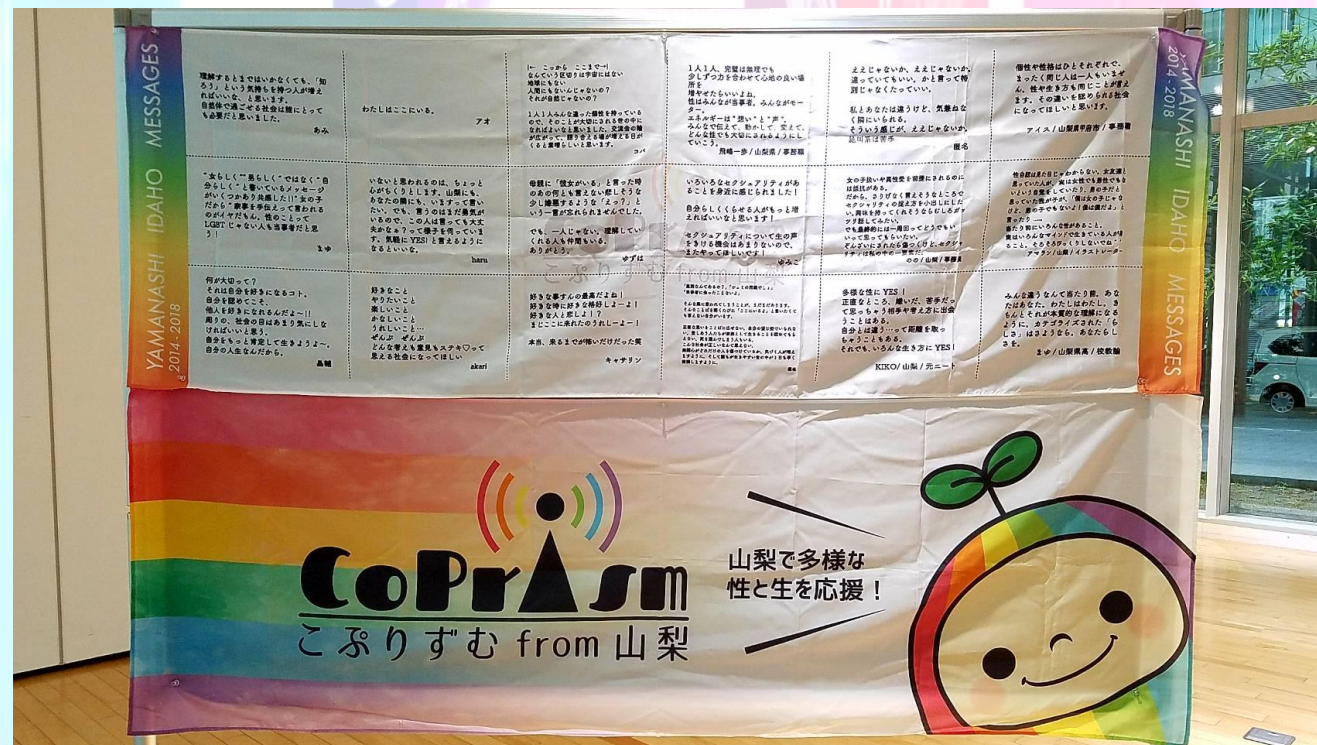
課題

- 多様な性が尊重される社会を作るための知識や人権意識をもっと広げていく必要がある
(パートナーシップ制度という選択肢があることを広める)
- 多様な性を生きる人々への具体的な保障制度がない

第1分科会:性の多様性

取組み方針

- 多様な性やパートナーシップ制度等について、教育の場等での啓発及び市民間での対話・議論の機会の確保
- 多様な繋がりを保障する制度の導入及び多様な市民が参加した上での実際に活用できる体制の構築
- どこに住んでいても生活を保障できるよう、県及び市町村間の連携体制の構築



第1分科会：性の多様性

未来の目指す姿

- 多様な生き方があることを認識し、それらを支えられる
- 多様な性や人生、繋がりがああることを知ることが保証される
- 甲府らしい繋がりの強さの中で誰もが安心して生活できる



選択の自由と個々人の生き方が尊重される社会

||

誰もが生きやすく、

生まれ育ってよかったと思える社会